

解 説



第25回品質工学研究発表大会振り返り

Review on the Papers in the 25th Robust Quality Engineering Society Annual Meeting

明吉 秀樹^{*1}
Hideki Akiyoshi

田村 希志臣^{*2}
Kishio Tamura

中島 建夫^{*3}
Takeo Nakajima

浜田 和孝^{*4}
Kazutaka Hamada

矢野 耕也^{*5}
Koya Yano

(司会) 吉澤 正孝^{*6}
Masataka Yoshizawa

1. 研究発表大会を振り返るにあたって

(司会) 吉澤 今回の大会は、1993年のフォーラム設立から25回目の大会である。昨年9月に一般社団法人になってから初めての大会でもあり、5年前から提唱してきたマクロ視点での活動の一つの区切りの大会と位置づけられる。大ホールは、学会としてのマクロ視点での品質工学を意識した構成になっている。ここ数年継続しマクロ視点での活動を推奨してきた。このような意思を示した活動を実施してきたが、われわれは、着実に進んでいるのか、どのようなことが見えてきたのかなどを話し合い、今後の活動に生かす。すべての発表に対して議論するわけにいけないので、受賞した発表を中心に議論していきたい。これは審査部会としての会員へのフィードバックともなる。

明吉 今年受賞した研究は以下の通りである。

金賞：

広島における殻付カキの生産工程の創出 [発表番号48]

高辻英之^{*1}、水野健一郎^{*2}、中森三智^{*3} (*1 広島

県立総合技術研究所、正会員、^{*2} 広島県立総合技術研究所、^{*3} 広島県農林水産局)

銀賞：

直彫り加工による大型超合金型一貫製造技術の開発—工具開発と最適加工— [発表番号2]

山本桂一郎^{*1}、若宮寛明^{*2}、早川幸弘^{*1}、飯田祐也^{*3}、高崎雅志^{*3}、梶谷理香^{*3}、酒谷隆晴^{*2}、林憲一^{*4} (*1 富山高等専門学校、正会員、^{*2} (株) エイ・エム・シィ、^{*3} 富山高等専門学校、^{*4} (株) ノトアロイ、正会員)

バーチャル設計を用いた、金型の形状合わせ技術の向上 [発表番号49]

長澄徹侍^{*1}、大塚宏明^{*1}、新矢 斉^{*2}、中山光一^{*2}、岡田又治^{*2}、坪根健児^{*2}、浜口照巳^{*2} (*1 マツダ(株)、正会員、^{*2} マツダ(株))

光学レンズのプレス加工汎用性追求—マクロ視点による全体最適アプローチ— [発表番号3]

高橋浩之^{*1}、遠藤義明^{*2}、石川智之^{*2}、瀧下明宏^{*2}、佐藤幸太^{*1} (*1 光ガラス(株)、正会員、^{*2} 光ガラス(株))

品質工学会会長賞：

タンパク質の濃度測定手法の研究 [発表番号32]

山岡誠司^{*1}、桑原 修^{*1}、塩野忠彦^{*2} (*1 (公財) 広島市産業振興センター、正会員、^{*2} 広島県立総合技術研究所)

品質工学研究発表大会実行委員長賞：

パラメータ設計による洗濯機洗浄剤の処方設計 [発表番号12]

*1 元(株)リコー

*2 コニカミノルタ(株)

*3 東京電機大学

*4 Hamada Quality Solution

*5 日本大学

*6 クオリティ・ディーブ・スマーツ(有組)